

鹿ノ台川柳教室

三月十五日（火）

地域（連記）阿部 俊八選

鹿ノ台住めば都と評議員

広子

ゆるキャラを地域の顔に育て上げ

ばんゆう

高齢化頼みの綱の地域愛

登子

子ら巢立ちここがふるさと鹿ノ台

哲子

カミカゼも昔語りの自爆テロ

ミノル

原発に頼り生き抜く過疎の村

勝利

犬の縁地域で話す顔馴染み

俊平

防空のデフェンスゾーン不透明

正清

茶筌だけ鹿だけじゃないだけじゃない

乃り子

公園のブランコいつもあくびする

千楽

子供消え老人も消え空き家増え

英二

お節介孤独死防ぐ地域の輪

よう子

地域から絆のわだち天届く

宏樹

句会来て地域のうわさいんぷット

アキラ

ゆるキャラも猫も頑張る町興し

義雄

秀星が降る他は取柄のない故郷
軸ご近所に迷惑かけるゴミ屋敷

良一
俊八

自由吟（共選） 原 広子選

ジョーカーは誰の手にある大統領
好きなだけ飲んでもいいと言われた日

登美
ばんゆう

3年後免許更新誓い合う

俊平

暖冬のツケが恐いと身構える

アキラ

叱られてついでのように褒められる

義雄

医者前に老いの最後を神頼み

宏樹

核家族二階の雨戸閉めたまま

よう子

二月堂ユニクロを着て火の粉浴び

英二

ひび入り繕いもせずバラを挿す

正清

仕事同じ時給月給なぜ違う

千楽

あり余る時間と遊ぶ古書の市

よう子

注意書き読めば飲めなくなる薬

俊八

惜別の言葉僅か時が去ぬ

正清

お彼岸に会いに行く友またひとり

英二

倭日本死ね不信が募る春の冷え
軸父さんの好物探すお買い得

良一
広子

自由吟（共選）

笹倉良一選

仕事同じ時給月給なぜ違う

千楽

二月堂ユニクロを着て火の粉浴び

英二

東風の中鼻をくすぐる沈丁花

登美

貧すれば金を積まれて目が眩む

アキラ

お彼岸に会いに行く友またひとり

英二

好きなだけ飲んでもいいと言われた日

ばんゆう

しだれ梅廻り道して会いに行く

哲子

注意書き読めば飲めなくなる菓

俊八

詫びそびれ疎遠になった師の訃報

義雄

オスカーも肌の色まで差別する

勝利

記憶力テストで歳を知らされる

俊平

老境は果て無き旅を超えてゆく

宏樹

冬さらば往ったり来たり春迷う

哲子

愛ちゃん嬉し涙もよく似合う

俊八

惜別の言葉僅か時が去ぬ

正清

喧噪の土台燻るジャイアンツ

勝利

翫あり余る時間と遊ぶ古書の市

よう子

軸日本死ね不信が募る春の冷え

良一

信じる（互選）

②風水で黄色が良いと花を買う

乃り子

神非情人の命の軽い事

ミノル

神様を名乗る戦士が多すぎる

千楽

妻信じ自分信じて生きて行く

宏樹

朝はくる信じて励む辞書友に

よう子

③地下杭をケチツて会社倒れかけ

ミノル

信じてた努力にいつもうらぎられ

登美

UFOも河童も国も信じない

俊八

信心をして神様がうとんじる

正清

三・一一忌信じて五年母何処

乃り子

④異教徒がチャペルで挙式する不思議

アキラ

信じるが確信となる潮目時

正清

騙されたことも気付かぬお人好し

勝利

信念を持っていそうな古寺の石

良一

⑤ 寄り添って信じる心愛となる

哲子

思春期の親蹴散らかす子を信じ

アキラ

今日は今日明日を信じて日記書く

英二

⑦ 信じろとつかまれた腕まだ痛む

ばんゆう

⑧ 信用を勝ち取るまでは石になる

ばんゆう

騙される方がいいよと母の真似

英二

⑫ ほどほどに信じ合うから続く仲

義雄

森里英治さん（北3）が初参加。さつそく、句作りに励んでいる。互選トップは、いまや義雄さんの指定席。独禁法違反、との声も。皆さん、遠慮せずにいきましよう。

*我らの旧クラスメート鹿せんべさん（岡崎英雄さん、西3在住）の句集「忘れづの」をいただき、皆んなで回し読み。毎日新聞万能川柳欄に掲載された六四〇余（約

十四年間）から三四二を集めた。一回載るのも大変なのに、仰ぎ見るような天文学的な数字。「坊やあの茶色い星が地球だよ」から始まる。感嘆の声が続いた。*

次回は四月十八日午後一時（日程を四月から第三月曜に変更）から西集会所。お題は「頑固」と「忘れる」、それに自由吟。各2句。「頑固」は連記用で短冊に2句とも書く。自由吟（選者2人による共選）は2部を提出。

問合せ 五十嵐 修 79・0751、

原広子 79・0061